

D ドライブライン／アクスル

FAX フロントアクスル・ドライブシャフト

作業上の注意	2	フロントドライブシャフト	10
・ 注意	2	・ 取り外し、取り付け	10
準備品	3	・ 分解、組み立て	13
・ 特殊工具	3	サービスデータ	22
フロントホイールハブ及びナックル	6	・ ホイールベアリング	22
・ 車載上の点検	6	・ ドライブシャフト	22
・ 取り外し、取り付け	6	・ ダイナミックダンパー	22
・ 分解、組み立て	7	・ 締付トルク	23

作業上の注意 注意

PPF:00001

JDS001YP

ドライブシャフト分解整備時は下記に注意すること。

- ジョイント部分（トランスミッション側とホイール側共）は非分解のため、分解しないこと。（Z90T79C 型は除く）
- できるだけゴミ、ほこりのない場所で作業すること。
- 分解整備を行う前に部品の外側を洗浄すること。
- 分解整備を行う場所を清潔にし、部品を汚したり異物が混入しないようにすること。
- 分解した部品は、確実に順序正しく取り付けること。作業を中断する場合は、部品の上に清潔なカバーをかけておくこと。
- ウエスはペーパーウエスを使用する。布製のウエスを使用すると、糸クズが付着する恐れがあるため使用しないこと。
- 分解した部品（ゴム部品は除く）は白灯油で洗浄し、エアブロー又は、ペーパーウエスを使用し油切りをすること。

準備品

準備品 特殊工具

PF0:00002

JDS001YQ

A

B

C

FAX

E

F

G

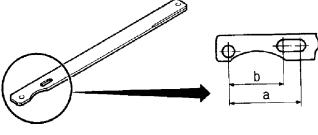
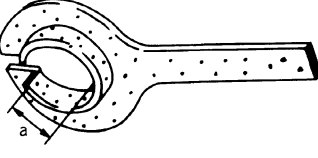
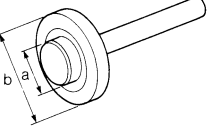
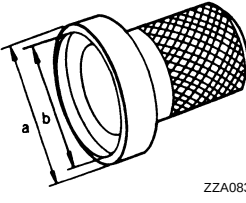
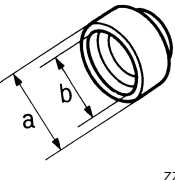
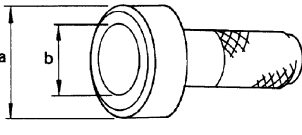
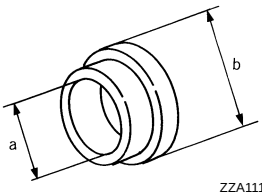
H

I

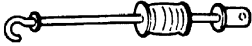
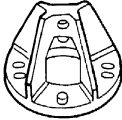
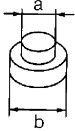
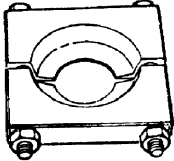
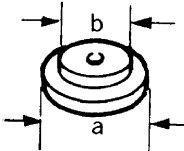
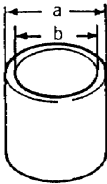
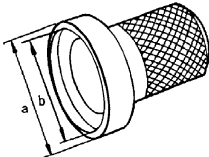
J

K

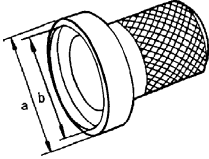
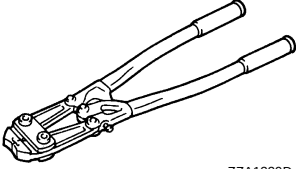
L

名称	用途
ハブロックナットレンチ KV401 04000 a: $\phi 85\text{mm}$ b: $\phi 65\text{mm}$  ZZA0802D	ドライブシャフト取り付け ハブロックナット脱着
プロテクター KV381 07800 a: $\phi 29\text{mm}$ KV381 05500 a: $\phi 40\text{mm}$  ZZA0835D	ドライブシャフト取り付け
ドリフト ST1713 0000 a: $\phi 32\text{mm}$ b: $\phi 60\text{mm}$  ZZA0836D	サポートベアリング分解
ドリフト ST3527 1000 a: $\phi 72\text{mm}$ b: $\phi 63\text{mm}$  ZZA0837D	サポートベアリング組み立て ホイールベアリング取り付け
ドリフト ST3325 2000 a: $\phi 82\text{mm}$ b: $\phi 60\text{mm}$  ZZA0838D	サポートベアリング組み立て
ドリフト KV381 00500 a: $\phi 80\text{mm}$ b: $\phi 60\text{mm}$  ZZA0701D	ABS センサーローター取り付け
カラー KV401 01840 a: $\phi 67\text{mm}$ b: $\phi 85\text{mm}$  ZZA1113D	ABS センサーローター取り付け

準備品

名称		用途
スライディングハンマー ST3623 0000		ホイールハブ取り外し
	ZZA0803D	
アタッチメント KV401 04100		ホイールハブ取り外し
	ZZA0804D	
ドリフト ST3306 1000 a: $\phi 28.5\text{mm}$ b: $\phi 38.0\text{mm}$		ホイールベアリングのアウトター側インナーレース取り外し
	ZZA0969D	
ベアリングリブレーサー ST3003 1000		ホイールベアリングのアウトター側インナーレース取り外し
	ZZA0700D	
ドリフト ST3061 3000 a: $\phi 72\text{mm}$ b: $\phi 48\text{mm}$		ホイールベアリング取り外し及び取り付け
	ZZA0830D	
ドリフト ST2786 3000 a: $\phi 75\text{mm}$ b: $\phi 62\text{mm}$		ホイールベアリング取り外し及び取り付け
	ZZA0832D	
ドリフト KV401 00621 a: $\phi 76\text{mm}$ b: $\phi 69\text{mm}$		ホイールベアリング取り付け
	ZZA0814D	

準備品

名称	用途
ドリフト ST3340 0001 a: ϕ72mm b: ϕ63mm  ZZA0814D	ホイールハブ取り付け
ブーツバンドカシメ工具 KV4010 7300  ZZA1229D	ブーツバンド取り付け

A

B

C

FAX

E

F

G

H

I

J

K

L

フロントホイールハブ及びナックル

PPF:40202

車載上の点検

JDS001YR

フロントアクスルに異常な遊び、割れ、摩耗やその他損傷が無いことを点検する。

- ・フロントホイール（左右）を動かし、遊びを点検する。
- ・釘などの異物が刺さっていないことを確認する。
- ・アクスルの全てのナット、ボルトは指定トルクで再度締め付ける。

フロントホイールベアリング

リフトアップなどの状態で、次の点検を行う。

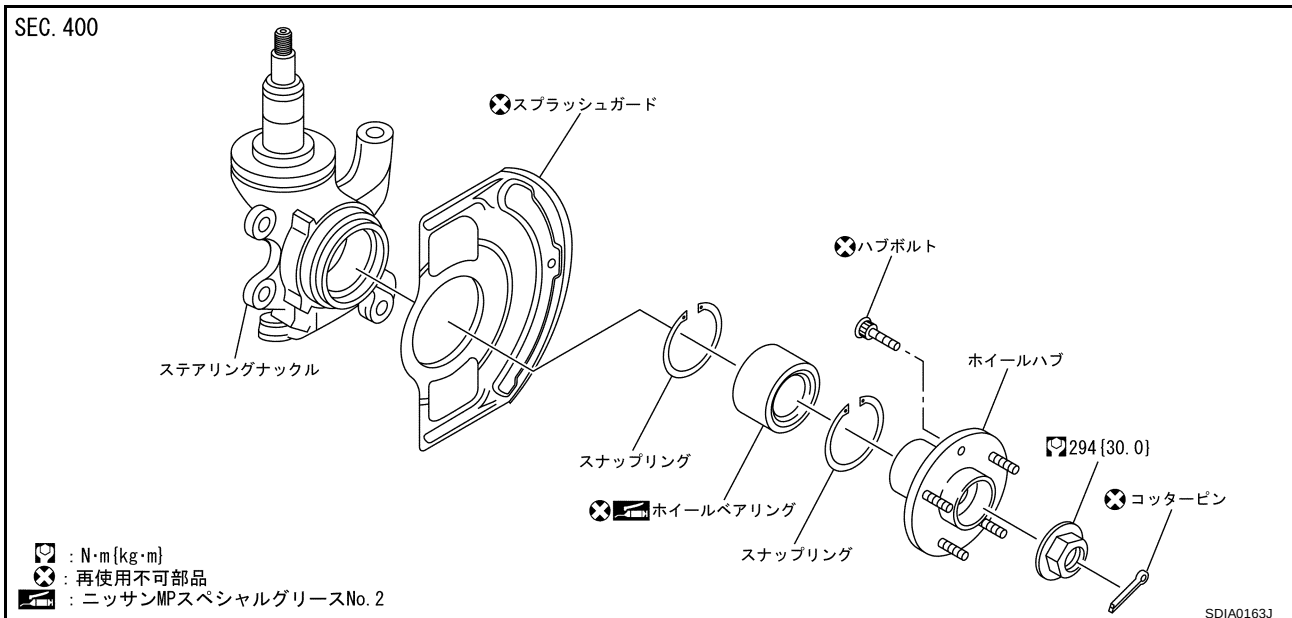
- ・ホイールハブを手で軸方向に動かし、フロントホイールベアリングにガタがないか点検する。

軸方向エンドプレー : 0.05 mm 以下

- ・ホイールハブを回転させて異音等がないかを点検する。異常のある場合は、ホイールベアリングを交換する。

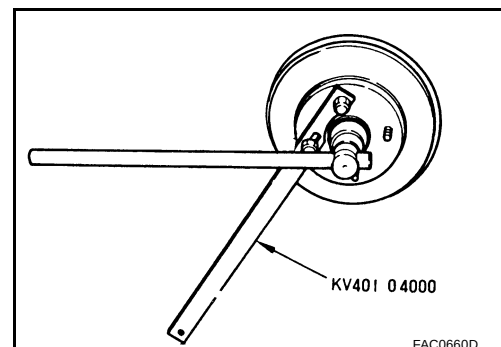
取り外し、取り付け

JDS001YS



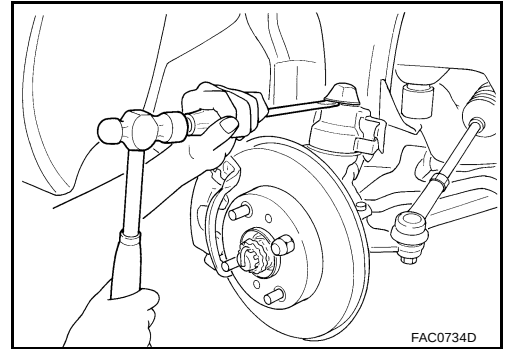
取り外し

1. タイヤを外し、ブレーキ配管のロックプレートをストラットより取り外す。
2. ブレーキキャリパーをステアリングナックルより取り外し、じゃまにならない所へ吊しておく。
注意： ブレーキキャリパーを外している間は、ブレーキペダルを踏まないこと。
3. ABS 車輪回転センサー及び配線をステアリングナックルより取り外す。
注意： ABS 車輪回転センサーのハーネスを引っ張らないこと。
4. コッターピンを外し、ハブロックナットレンチ（特殊工具）を用いて、ロックナットをドライブシャフトより取り外す。
5. ディスクローターをホイールハブより取り外す。
6. コッターピンを外し、ピットマンアームブーラー（汎用工具）を用いて、タイロッドをステアリングナックルより取り外す。
注意： ピットマンアームブーラー（汎用工具）を使用するときは、ナットを仮り付けしておくこと。



フロントホイールハブ及びナックル

7. マイナスドライバー等を用いて、キングピンキャップを取り外す。
8. ステアリングナックルとアッパーリンク間の取付ロックナット及びワッシャーを外し、アッパーリンクよりステアリングナックルを取り外す。



9. ステアリングナックルをストラットより取り外す。
10. ドライブシャフトをステアリングナックルより取り外す。
11. コッターピンを外し、ピットマンアームプーラー（汎用工具）を用いて、トランスバースリンクをステアリングナックルより取り外す。

注意：ピットマンアームプーラー（汎用工具）を使用するときは、ナットを仮り付けしておくこと。

取り付け

各締付けトルク等については構成図「取り外し、取り付け」(FAX-6 ページ)を参照し、取り外しの逆の手順で行う。

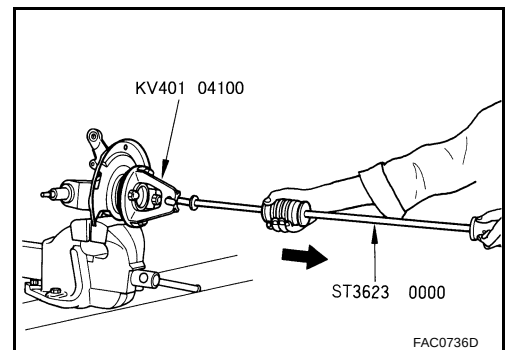
分解、組み立て

JDS001YT

分解

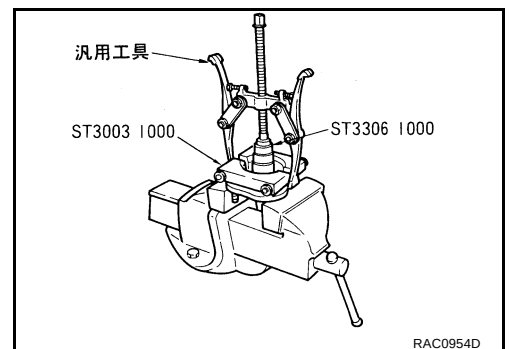
1. ステアリングナックルをストラットとの取付部で万力にセットし、スライディングハンマー（特殊工具）及びアタッチメント（特殊工具）を用いて、ホイールハブをステアリングナックルより取り外す。

注意：万力にセット時は、アルミ板等を利用しステアリングナックルのストラット取り付け面に傷を付けないようにすること。



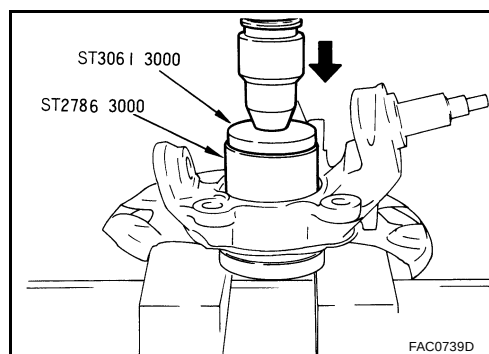
2. 図のようにプーラー（汎用工具）、ドリフト（特殊工具）及び、ベアリングリプラー（特殊工具）を用いて、ホイールハブよりアウター側ホイールベアリングインナーレースを取り外す。
3. マイナスドライバー等を用いて、インナーレース側スナップリングを取り外す。

注意：ステアリングナックルに傷を付けないよう行うこと。



フロントホイールハブ及びナックル

- ドリフト（特殊工具）を用いて、プレスにてホイールベアリングを取り外す。
- マイナスドライバー等を用いて、アウターレース側スナップリングを取り外す。
- ステアリングナックルを万力で固定し、マイナスドライバー及びハンマーを用いて、スプラッシュガードをステアリングナックルより取り外す。



分解後の点検

ホイールハブ

- ホイールベアリングに損傷、焼き付き、さびがないかまた、ホイールハブにき裂（染色探傷法などで確認）がないか点検し、異常がある場合は交換する。

ステアリングナックル

- ステアリングナックルに変形、き裂、損傷等がないか点検し、異常がある場合は交換する。

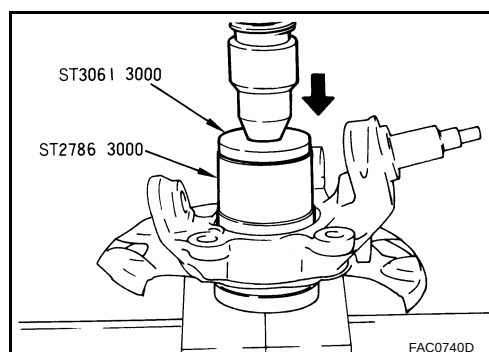
スナップリング

- スナップリングに、摩耗、損傷がないか点検し、異常がある場合は交換する。

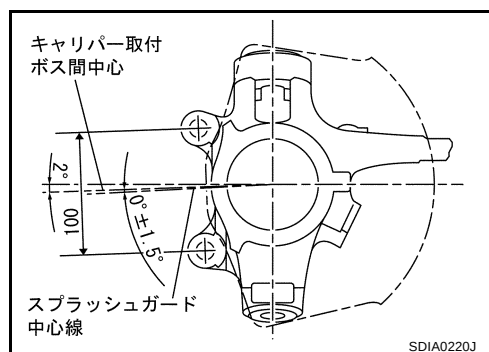
組み立て

- ドリフト（特殊工具）を用いて、スプラッシュガードをステアリングナックルに取り付ける。

注意：スプラッシュガードは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



- スプラッシュガードは図の位置に取り付けること。



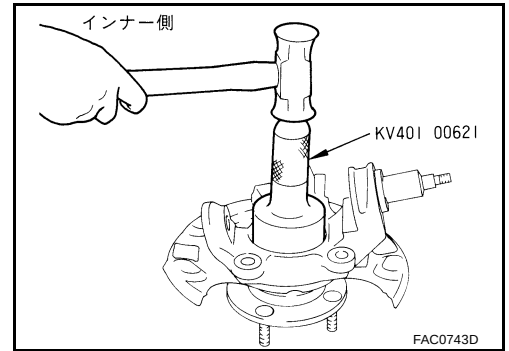
- マイナスドライバー等を用いて、アウターレース側スナップリングを取り付ける。

フロントホイールハブ及びナックル

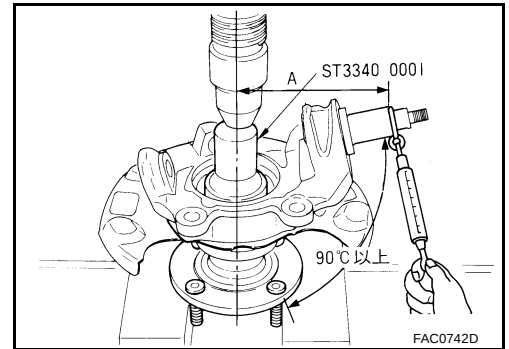
- ドリフト（特殊工具）を用いて、プレスにてホイールベアリングをステアリングナックルに圧入する。

注意： ホイールベアリングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

- マイナスドライバー等を用いて、インナーレース側スナップリングをステアリングナックルに取り付ける。



- ドリフト（特殊工具）を用いて、プレスにてホイールハブを取り付ける。
- 図の状態です 34324 ～ 49030N {3500 ～ 5000kgf} の荷重をかけ、正逆方向になじみ回転を各 10 回行う。



- 回転速度 $10 \pm 2 \text{rpm}$ にてストラットとの締結部分（アッパー側ボルト穴）にバネ秤をかけ、回転トルクを測定する。
「サービスデータ」[「ホイールベアリング」\(FAX-22 ページ\)](#)を参照すること。

回転トルク : 1.645 N·m (0.168kgf·m) 以下

バネ秤の測定値 : 10.3 N (1.0kgf) 以下

参考：49030N {5000kgf} の荷重をかけられない場合

- ドライブシャフトを組み付けホイールハブロックナットを規定トルクで締め付け、正逆方向になじみ回転各 10 回行う。
- 回転速度 $10 \pm 2 \text{rpm}$ にてハブボルトにバネ秤をかけ回転トルクを測定する。

回転トルク : 2.125N·m {0.217kgf·m} 以下

バネ秤の測定値 : 37.2N {3.8kgf} 以下

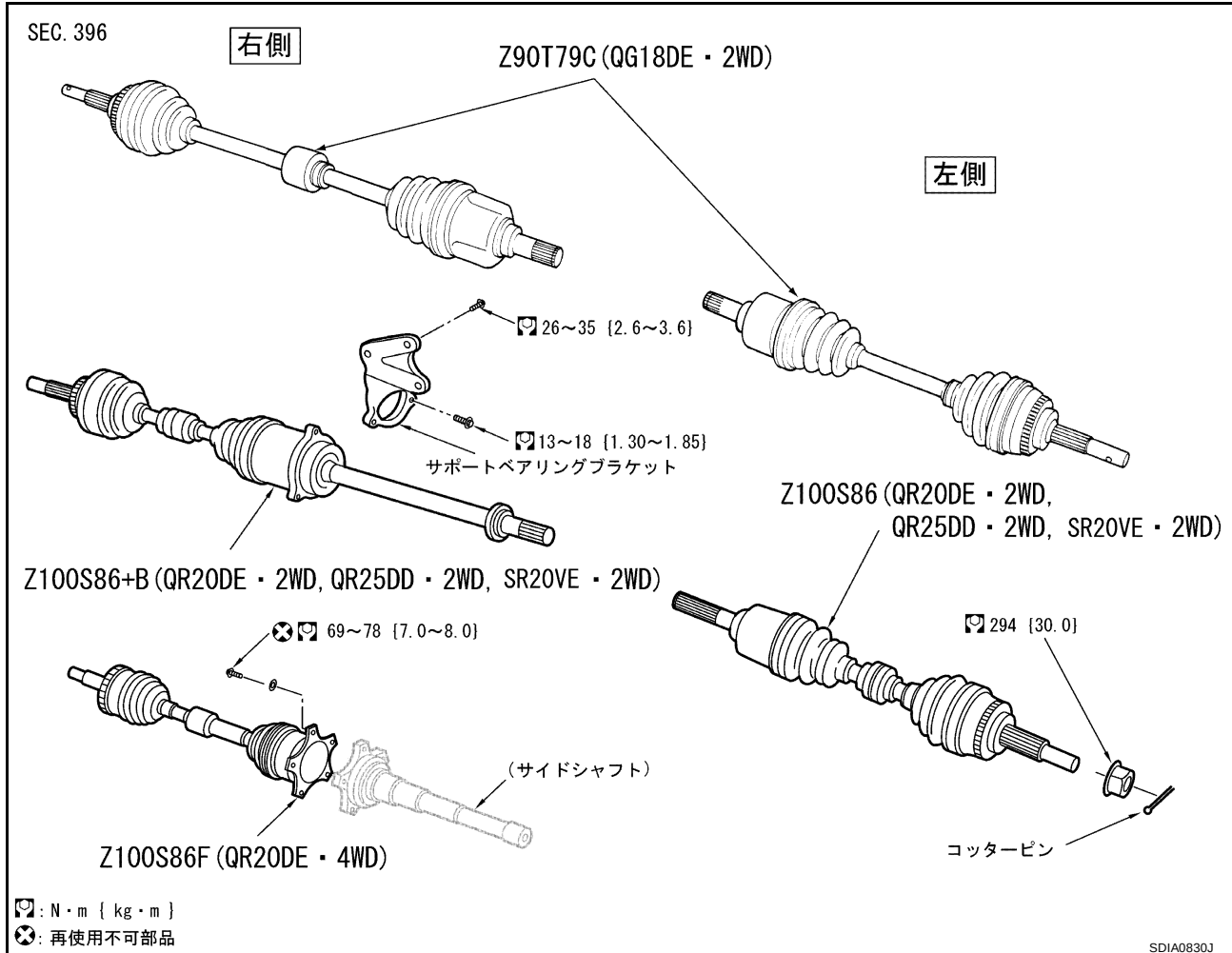
フロントドライブシャフト

フロントドライブシャフト

PPF:39100

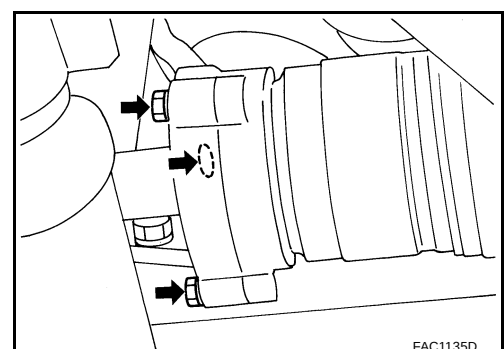
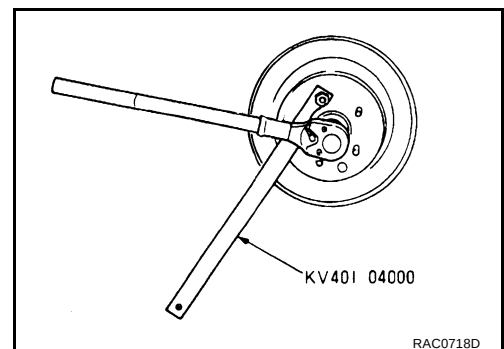
取り外し、取り付け

JDS001YU



取り外し

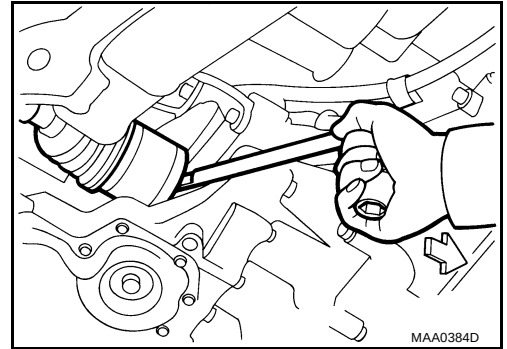
1. コッターピンを取り外し、ハブロックナットレンチ（特殊工具）を用いて、ロックナット及びワッシャーを取り外す。
2. ABS 車輪回転センサーをステアリングナックルより取り外す。
3. ピットマンアームプーラー（汎用工具）を用いて、ステアリングタイロッドをステアリングナックルより取り外す。
4. ストラット部のロックプレートを取り外し、ブレーキホースをストラットより分離する。
5. ステアリングナックルとストラットの取付ボルトを取り外す。
6. 2WD 車 (QG18DE 車以外) は右側ドライブシャフトのサポートベアリングとサポートベアリングブラケット及びサポートベアリングとエンジン取り付けボルトを取り外す。
 - ・4WD 車は右側ドライブシャフトとサイドシャフトのフランジ部の取付ボルトを外し車両より取り外す。



フロントドライブシャフト

7. 図のようにホイールレンチ等を用いて、ドライブシャフトをトランスアクスルより取り外す。このとき、左側ドライブシャフトの先端部にサークリップが付いていることを確認する。

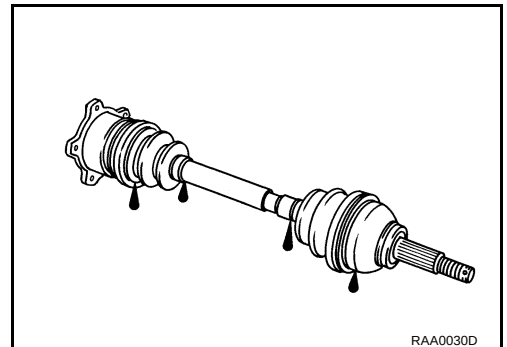
- 注意：**
- QG18DE エンジン搭載車の左側ドライブシャフトはエンジンのセンターメンバーを取り外してから上記作業を行うこと。
 - 車両よりドライブシャフトを取り外す際は、ブレーキホース及び ABS 車輪回転センサーのハーネスなどに干渉させないように行うこと。
 - 下記ドライブシャフトを取り外した場合は、先端部にサークリップが付いていることを確認すること。



エンジン型式	サークリップ付ドライブシャフト	
	右	左
QG18DE (2WD 車)	○	○
QR20DE (2WD 車) /QR25DD	—	○
QR20DE (4WD 車)	—	○
SR 20VE (2WD 車)	—	○

取り外し後の点検

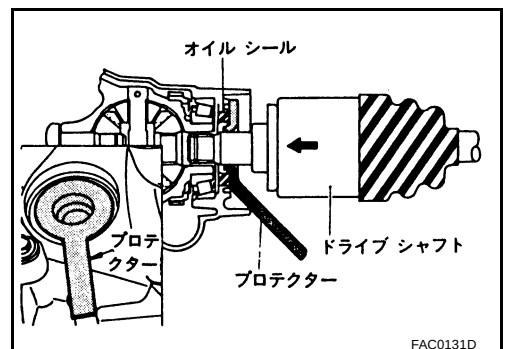
- ジョイント部を上下、左右、軸方向に動かし、不円滑な作動、著しいガタがないことを点検する。
- ブーツのき裂、損傷及びグリース漏れがないことを点検する。



取り付け

1. ディファレンシャルサイドオイルシール損傷防止のため、オイルシール部にプロテクター（特殊工具）を取り付けてからドライブシャフトを挿入し、ドライブシャフトのスライドジョイントをスライドさせ、ハンマーリングの要領で確実に取り付ける。

- 注意：**
- サークリップが確実に結合したことを確認すること。
 - サークリップは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



車種区分	プロテクターの特殊工具番号
QG18DE エンジン搭載 2WD 車	KV381 07900
QR20DE,QR25DD,SR20VE エンジン搭載 2WD 車	KV381 07800
QR20DE エンジン搭載 2WD 車	KV381 05500

フロントドライブシャフト

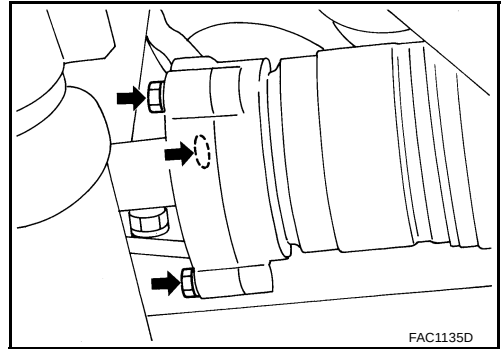
- 2WD 車 (QG18DE 車以外) の右側ドライブシャフトはサポートベアリングとサポートベアリングブラケット及びサポートベアリングとエンジン側の取付ボルトを取り付け、規定トルクで締め付ける。

サポートベアリングとブラケット取付ボルト

締付トルク : 13 ~ 18 N·m (1.3 ~ 1.9kg·m)

サポートサポートベアリングとエンジン側取り付けボルト

締付トルク : 26 ~ 35 N·m (2.6 ~ 3.5kg·m)

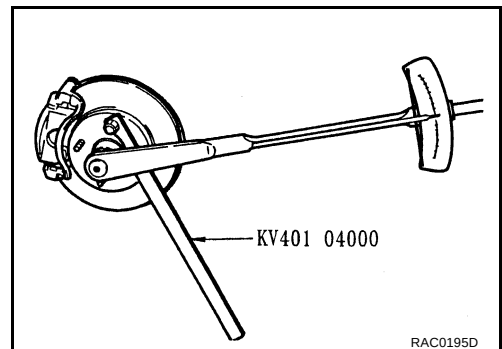


- 4WD 車は、右側ドライブシャフトをサイドシャフトに取り付け、取付ボルトを規定トルクで締め付ける。

締付トルク : 69 ~ 78 N·m { 7.0 ~ 8.0kg·m }

- ドライブシャフトをステアリングナックルに挿入し、ワッシャーを取り付け、ロックナットを仮締めする。
- ステアリングナックルとストラットの取付ボルトを取り付ける。
- ブレーキホースをストラット ASSY に取り付けロックプレートで固定する。
- ステアリングタイロッドをステアリングナックルへ取り付ける。
- ABS 車輪回転センサーを取り付け、ロックナットを規定トルクで締め付ける。
- ハブロックナットレンチ（特殊工具）を用いて、ロックナットを規定トルクで締め付ける。
- コッターピンを取り付ける。

注意：コッターピンは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



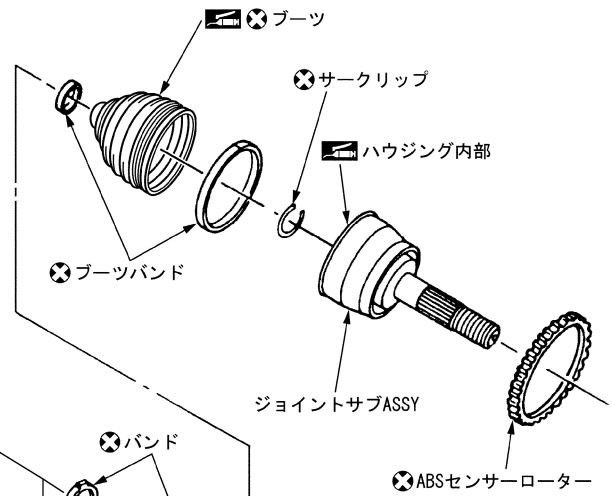
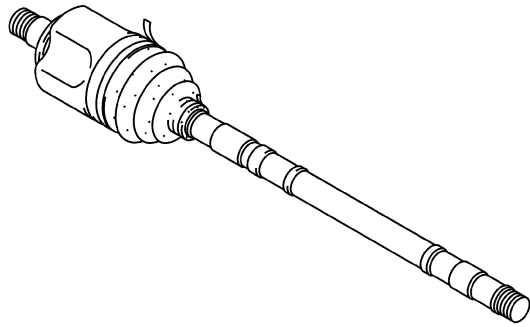
フロントドライブシャフト

分解、組み立て

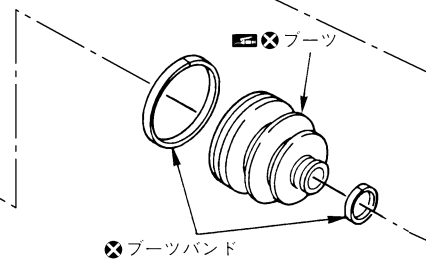
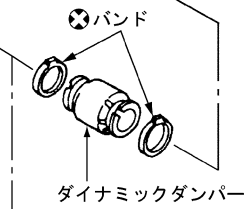
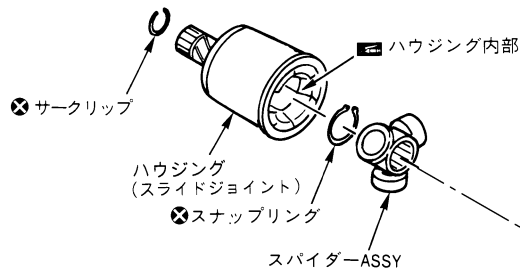
JDS00215

SEC. 391

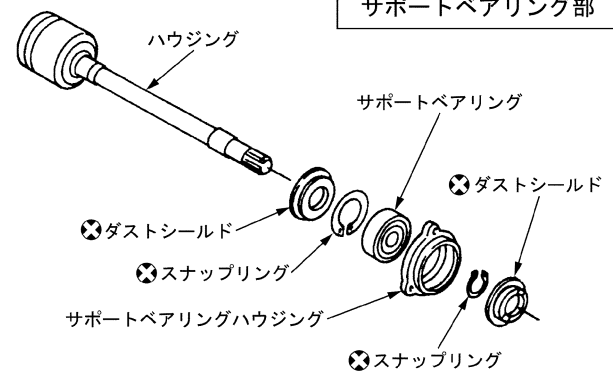
S86型
S86F型



T79C型



サポートベアリング部



⊗ : 再使用不可部品

■ : 日産純正指定グリース(パーツカタログ参照)

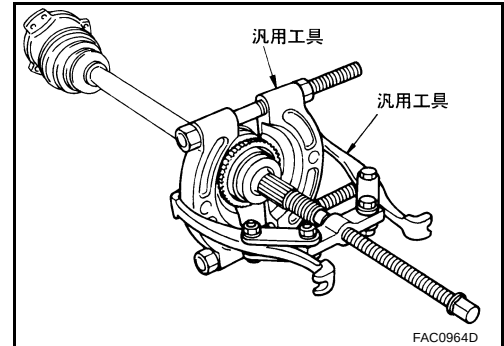
SDIA0793J

フロントドライブシャフト

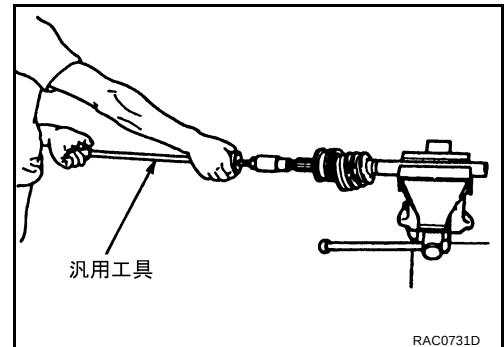
分解

ホイール側

1. 図のように、ベアリングリプラー（汎用工具）及びプーラー（汎用工具）を用いて、ABS センサーローターをドライブシャフトより取り外す。



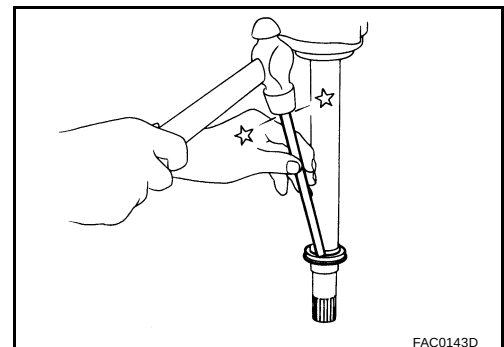
2. シャフトを万力で固定する。
注意： 万力で固定する場合は、銅版、アルミ板などを介して固定すること。
3. ブーツバンドを外し、ブーツをジョイントサブ ASSY より取り外す。
4. ドライブシャフトプーラー（汎用工具）をジョイントサブ ASSY のネジ部に 30mm 以上ねじ込み、ジョイントサブ ASSY をシャフトより抜き取る。
注意： ジョイントサブ ASSY の抜き取り作業を 5 回以上行っても抜けない場合は、ドライブシャフト ASSY で交換すること。



5. ブーツをシャフトより取り外す。
6. ダイナミックダンパーをシャフトより取り外す。
7. サークリップをシャフトより取り外す。
8. 古いグリースを除去する。

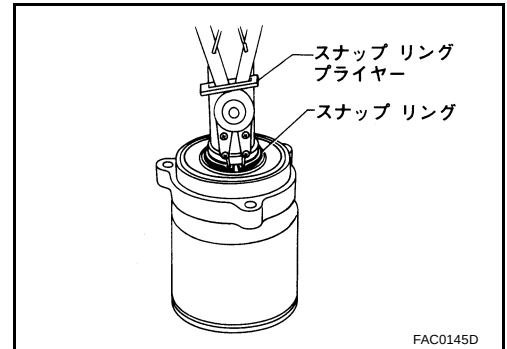
サポートベアリング（Z100S86+B）

1. 図のように黄銅棒及びマイナスドライバーを用いて、インナー側ダストシールドをシャフトより取り外す。



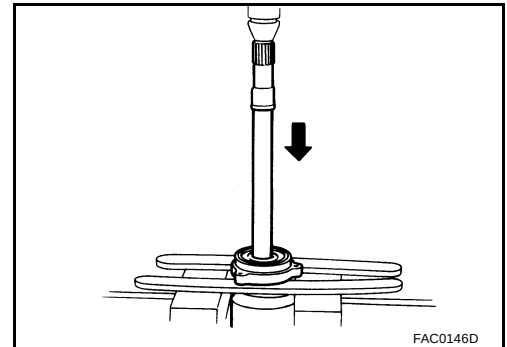
フロントドライブシャフト

2. スナップリングをハウジングより取り外す。

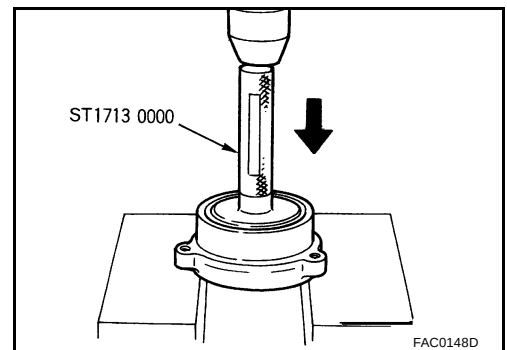


3. 図のようにプレスを用いて、サポートベアリング ASSY をハウジングより取り外す。

4. アウター側ダストシールドを取り外す。



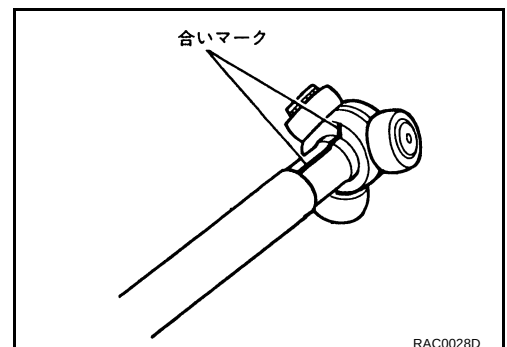
5. スナップリングをサポートベアリングハウジングより取り外し、図のようにドリフト（特殊工具）を用いて、サポートベアリングをハウジングより抜き取る。



トランスアクスル側 (Z100S86、Z100S86 + B、Z100S86F は非分解)

Z90T79C

1. ブーツバンドを取り外す。
2. シャフトを万力に固定する。
注意： 万力で固定する場合は、銅板、アルミ板等を介して固定すること。
3. ハウジングから、シャフト、スパイダー ASSY を取り外す。
4. スナップリングを取り外し、スパイダー ASSY をシャフトより抜き取る。
5. シャフトとスパイダー ASSY に合いマークを付ける。
6. ブーツをシャフトより取り外す。
7. ダイナミックダンパーをシャフトより取り外す。



フロントドライブシャフト

分解後の点検

シャフト

- ・シャフト部に振れ、き裂及び損傷があればシャフトを交換する。

ジョイントサブ ASSY (ホイール側)

- ・ジョイントの回転具合、軸方向の異常なガタがないか。
- ・ジョイント内部の異物混入がないか。

注意: ジョイント ASSY の構成部品に異常がある場合、ジョイント ASSY で交換する。

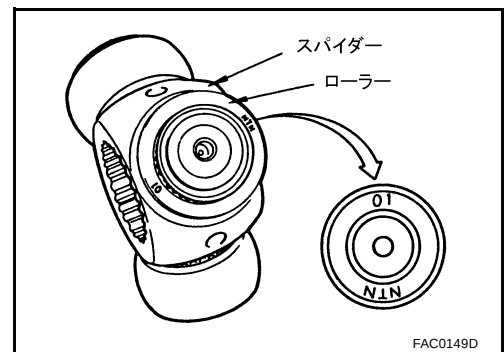
サポートベアリング

- ・サポートベアリングに異常及び損傷、異常摩耗がないか。
- ・サポートベアリングハウジングに、き裂及び損傷はないか。

ジョイント ASSY (トランスアクスル側)

Z90T79C

- ・ハウジングのローラー接触面に傷、摩耗がある場合、スパイダーのローラー面に傷、摩耗がある場合は、ハウジング及びスパイダー ASSY を交換する。
- ・スパイダーのローラーに円周方向のガタ、回転ムラがある場合はスパイダー ASSY を交換する。
- ・スパイダー ASSY の交換は、図のようにローラーに打刻された刻印番号と同じ部品を下記から選択し、組み付ける。
- ・ジョイント ASSY の構成部品に異常がある場合、ジョイント ASSY で交換する。
- ・ハウジング交換等は、セット部品としてスパイダー ASSY も含まれる。

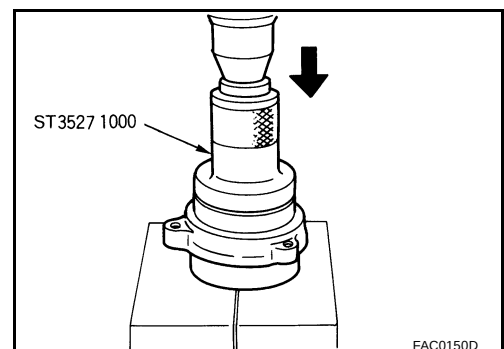


刻印番号	部品番号	型式
01	39720 61E01	T79C
02	39720 61E02	
03	39720 61E03	
04	39720 61E04	
05	39720 61E05	
06	39720 61E06	
07	39720 61E07	

組み立て

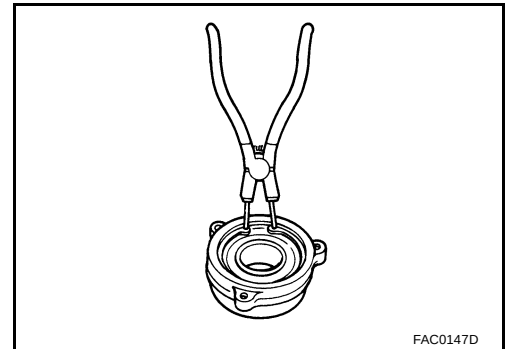
サポートベアリング (Z100S86+B)

1. ドリフト (特殊工具) を用いて、サポートベアリングをハウジングに圧入する。

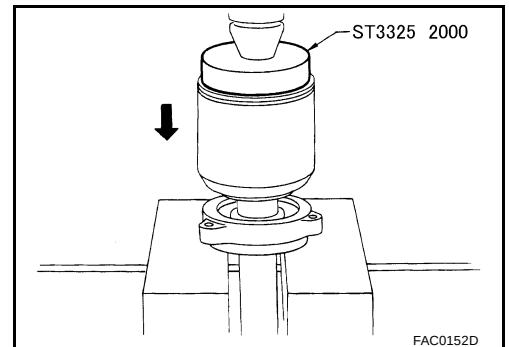


フロントドライブシャフト

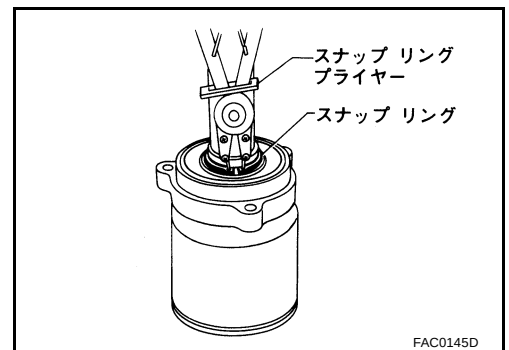
2. サポートベアリングをサポートベアリングハウジングに取り付け
スナップリングで固定する。
3. アウター側ダストシールドを取り付ける。



4. ドリフト（特殊工具）を用いて、サポートベアリング ASSY をハウジングに圧入する。

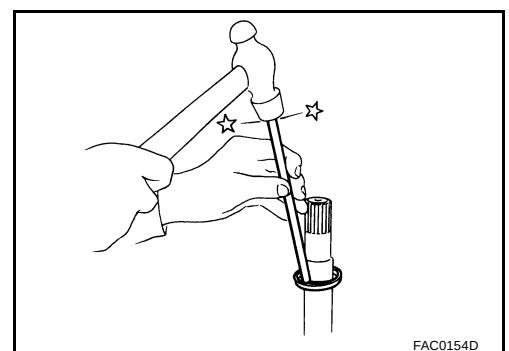


5. サポートベアリング ASSY をスナップリングで固定する。



6. 黄銅棒及びマイナスドライバーを用いて、インナー側ダストシールドを圧入する。

注意： 圧入時にダストシールドを变形させないようにすること。

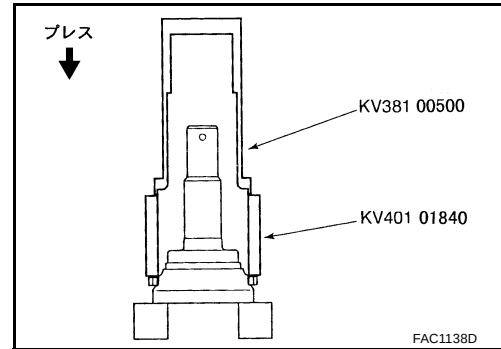


フロントドライブシャフト

ホイール側

- ドリフト（特殊工具）を用いて、ジョイントサブ ASSY に ABS センサーローターを圧入する。

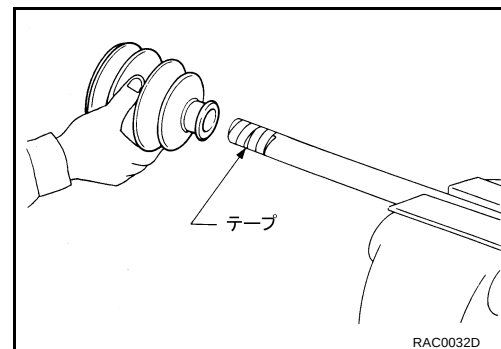
注意：・ ABS センサーローターは再使用不可部品のため、再使用しないこと。
・ ジョイン ASSY は非分解のため、分解しないこと。



- ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、ブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

注意：ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

- シャフトのセレーション部に巻いたテープを外す。



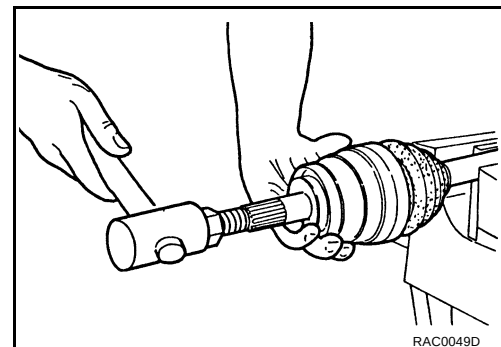
- シャフトにサークリップを取り付ける。このときサークリップがシャフト溝部に確実に入っていること。ジョイントサブ ASSY にナットを付け、木ハンマーでシャフトに圧入する。

注意：サークリップは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

- ブーツの大径側からハウジング内に日産純正指定グリース（パーツカタログ参照）グリースを下記容量まで充てんする。

グリース量

Z100 型	: 120 ± 5g
Z90 型	: 98 ± 5g



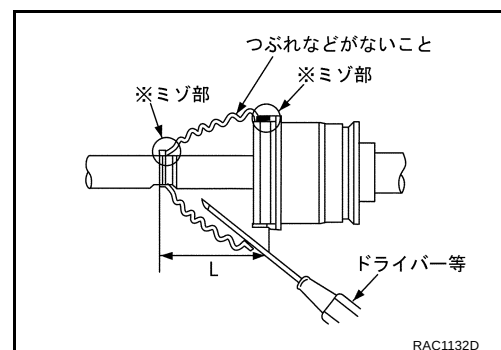
- ブーツを図の溝部（※印部）へ確実に取り付ける。

注意：ジョイントのブーツ取付面（※印部）に付着したグリースは除去すること。ブーツ取付面にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがある。

- ブーツの長さ（L）が下記寸法であることを確認し、大径側からマイナスドライバー等を差込、ブーツ内外の圧力を調整し、ブーツの変形を防止する。

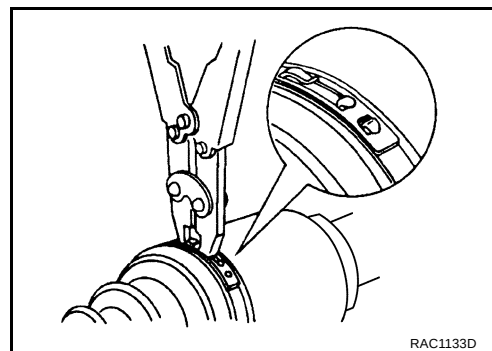
ブーツ取付長さ

Z100 型	: 103±3mm
Z90 型	: 95.1±1mm



フロントドライブシャフト

- 注意：**・ブーツ取り付け長さが基準値を下まわるとブーツ破れの原因となる。
- ・ドライバーの先端がブーツ内面当たらないように注意すること。
 - ・ブーツの大径側及び小径側を図のように新品のブーツバンドで固定する。



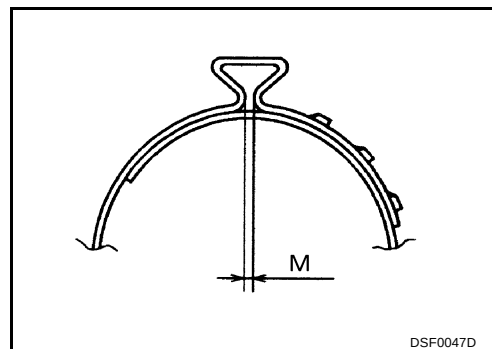
- 注意：**ブーツバンドを固定する際、図の M 寸法が下記になるように固定すること。

M 寸法

大径側 : $2.5 \pm 0.5\text{mm}$

小径側 : $2.5 \pm 0.5\text{mm}$

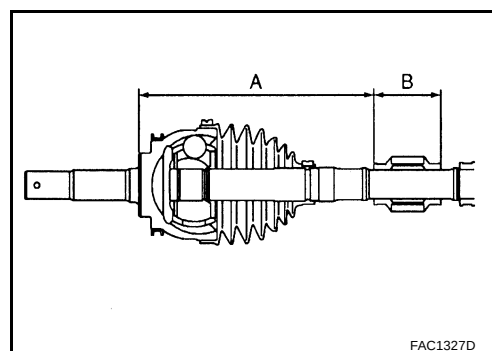
- ・ブーツの取付状態を確認する。ジョイントを回し、ブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、新品のブーツバンドを再度組み付ける。



ダイナミックダンパー

- ・ダイナミックダンパーを取り外した場合は、図のように固定ジョイント側より下記寸法となるようにバンドで固定する。

- 注意：**ダイナミックダンパーバンドは再使用不可部品のため、再使用しないこと。



取付寸法

型式	駆動方式	仕様	A 寸法 (mm)	B 寸法 (mm)
Z100S86	2WD 4WD	左	210±3	70 (68) 注
Z100S86+B	2WD	右	230±3	
Z100S86F	4WD		270±3	
Z90T79C	2WD		398±5	

注：() は SR20VE 搭載車

フロントドライブシャフト

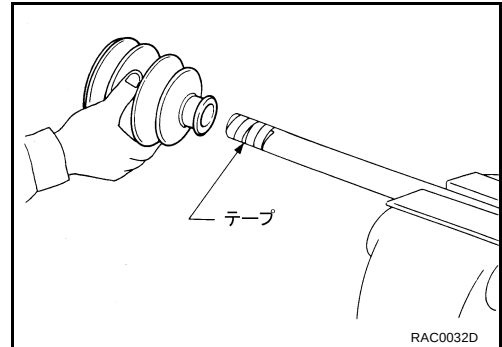
トランスアクスル側 (Z100S86、Z100S86±B、Z100S86F は非分解)

Z90T79C

1. ドライブシャフトのセレーション部にテープを巻き、ブーツを損傷させないようにし、ブーツバンド及びブーツをシャフトに取り付ける。

注意： ブーツバンド及びブーツは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

2. シャフトのセレーション部に巻いたテープを外す。

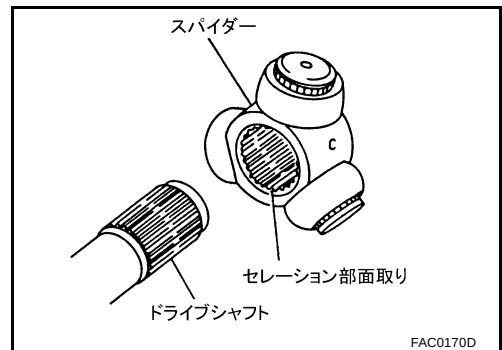


3. スパイダー ASSY を取り外したときに付けた合いマークに合わせ、セレーション部の面取りがドライブシャフト内方向となるように取り付ける。

4. スパイダー ASSY をスナップリングで固定する。

注意： スナップリングは再使用不可部品のため、再使用しないこと。

5. 日産純正指定グリース (パーツカタログ参照) をスパイダー ASSY 及びしゅう動部に塗布する。



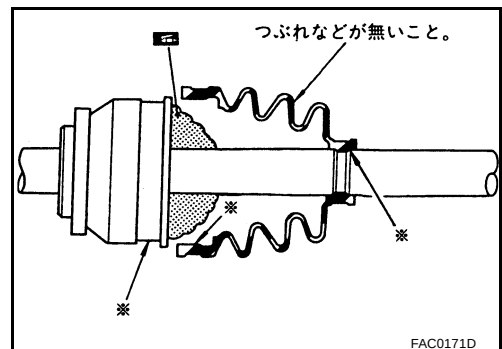
6. スライドジョイントハウジングをスパイダー ASSY に組み付け、残りのグリースを下記容量まで充てんする。

グリース量

T79C 型 : 160±5g

7. ブーツを図の溝部 (※部) へ確実に取りつける。

注意： ジョイントのブーツ取付面 (※部) にグリースが付着しているとブーツが外れる恐れがあるので、付着したグリースは除去すること。



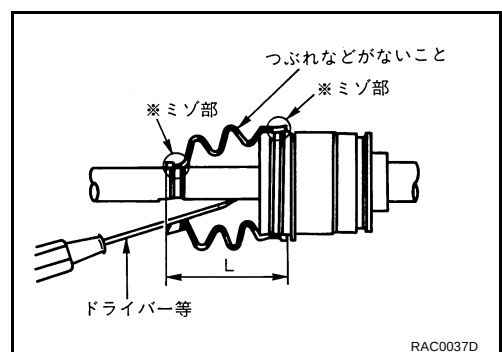
8. ブーツの長さ (L) が下記寸法であることを確認し、小径側からマイナスドライバー等を差し込み、ブーツ内のエアを抜き、ブーツの変形を防止する。

ブーツ取付長さ

T79C 型 : 102.5±1mm

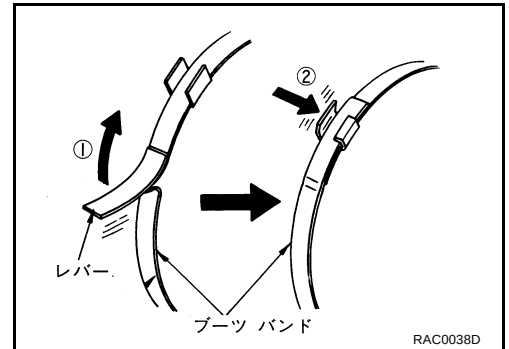
注意： ・ ブーツ取付長さが基準値を下回るとブーツ破れの原因となる。

- ・ ドライバーの先端がブーツ内面に当たらないように注意すること。



フロントドライブシャフト

- ブーツの大端径及び小端径を図のようにブーツバンドで固定する。
- ブーツの取付状態を確認する。ハウジングを回し、ブーツの取付位置がずれないこと。ずれたときは、ブーツバンドを再度組み付ける。



A

B

C

FAX

E

F

G

H

I

J

K

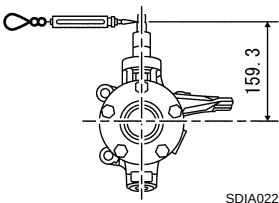
L

サービスデータ

サービスデータ ホイールベアリング

PFP:00030

JDS001YW

駆動方式	2WD、4WD
軸方向エンドプレー	0.05mm 以下
回転トルク	1.645N・m 以下 {0.168kg・m 以下}
バネ秤の測定値	10.3N 以下 {1.0kg 以下}
バネ秤取付位置	

ドライブシャフト

JDS00216

Z100S86、Z100S86+B、Z100S86F

ジョイントタイプ	ホイール側	Z100
ブーツ長さ		103±3mm
グリース量		120 ± 5g

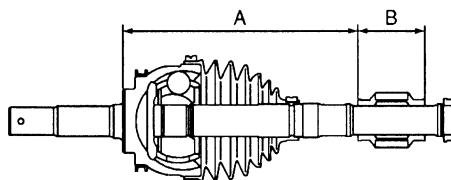
Z90T79C

ジョイントタイプ	ホイール側	ファイナルドライブ側
	Z90	T79C
グリース量	98 ± 5g	160 ± 5g
ブーツ長さ	95.1±1mm	102.5±1mm

ダイナミックダンパー

JDS00217

型式	駆動方式	仕様	A 寸法 (mm)	B 寸法 (mm)
Z100S86	2WD、4WD	左	210 ± 3	70(68) 注
Z100S86+B	2WD	右	230 ± 3	
Z100S86F	4WD		270 ± 3	
Z90T79C	2WD		398 ± 5	



FAC1327D

注：() は SR20VE 搭載車

サービスデータ

締付トルク

JDS001YX
単位：N・m {kg・m}

ドライブシャフト～サイドシャフト	69~78 {7.0 ～ 8.0}
ホイールハブロックナット	294 {30.0}

A

B

C

FAX

E

F

G

H

I

J

K

L

